

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年2月13日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	温泉施設へのバイオマスボイラー導入事業
承認番号	KC1321
排出削減事業者名	温泉施設へのバイオマスボイラー導入事業
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	オーベルジュましけ (温泉宿泊施設) (住所：北海道増毛郡増毛町別荘 2 1 7 番地の 1)
事業の概要	温泉施設の温泉・給湯設備用のボイラーを、A 重油ボイラーから廃食用油を用いたバイオマスボイラーに転換することにより、重油使用量やCO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012年度：58 tCO2 2013~2019年度：134tCO2 2020年度：75tCO2 (事業実施期間合計 1,071tCO2)
クレジット認証期間	事業開始日 2012 年 10 月 22 日 終了予定日 2020 年 10 月 21 日
排出削減方法論	方法論番号001「ボイラーの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日 ～ 2017年10月21日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	345tCO2 (2015年4月1日 ～ 2017年10月21日)
-------	--------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 導入したボイラー設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間におけるバイオマス燃料の購入記録により確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 関係者へのヒアリング、バイオマス燃料の納品書の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、バイオマス燃料使用に関するモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 関係者への質問、購入記録等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、バイオマス燃料の購入記録、燃料の分析データ等の保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。

	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)ver2.9及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>□</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2015 年 4 月 1 日から 2017 年 10 月 21 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020 年10 月21 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。□</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の現地訪問により、事業計画審査当初からA重油ボイラーと廃タイヤボイラーが設置されており、バイオマスボイラーはA重油ボイラーの更新であるものの、同時に廃タイヤボイラーのバックアップ機の位置づけであることを確認した。排出削減量の増加が見られたが、廃タイヤボイラーの故障の際、当初想定された以上にバイオマスボイラーを稼働させたため、排出削減量が計画値よりも多くなったことが確認されている。今回の検証において、計画値を超える排出削減量に関しては、廃タイヤボイラー稼働分の置き換えであると判断し、各年度の排出削減量の上限値を事業計画の値としている。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は4,881.6GJであることを確認した。

以上